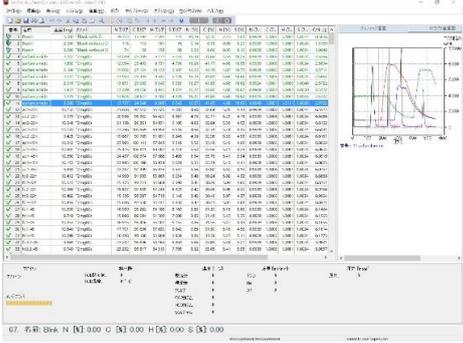
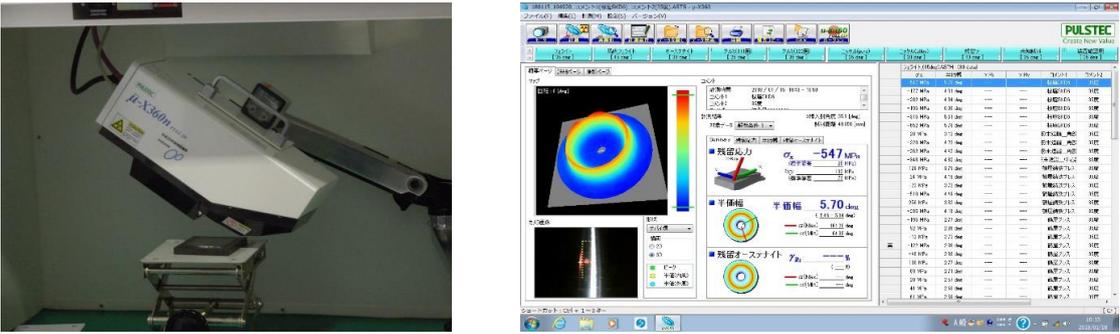


事業者名	(地独)北海道立総合研究機構								
機器名	全自動元素分析装置								
写真									
特徴・用途	多くの物質の基本構成元素である炭素、水素、窒素、硫黄、酸素を定量分析する装置。粉体または液体試料の分析が可能。炭素、水素、窒素、硫黄は1回の測定で同時に分析できる。80検体のオートサンプラーが装備され、効率の良い分析が可能。								
設置場所	(地独)北海道立総合研究機構産業技術研究本部工業試験場								
利用状況	年月	稼働日数 (日)	依頼試験・ 依頼分析 (件)	技術指導 (件)	試験設備貸出・利用		受託研究・ 共同研究 (件)	その他 (件)	利用件数 計(件)
	平成29年10月	6	0	2	1	7	0	1	4
	平成29年11月	2	0	0	0	0	0	1	1
	平成29年12月	4	0	0	2	10	0	0	2
	平成30年1月	0	0	0	0	0	0	0	0
	平成30年2月	8	1	0	4	33	0	0	5
	平成30年3月	2	0	0	1	10	0	0	1
	平成30年4月	2	0	0	1	4	0	0	1
	平成30年5月	0	0	0	0	0	0	0	0
	平成30年6月	2	0	0	1	7	0	0	1
	平成30年7月	2	0	0	1	5	0	0	1
	平成30年8月	0	0	0	0	0	0	0	0
	平成30年9月	1	0	0	0	0	0	1	1
	平成30年10月	9	0	0	3	24	2	0	5
	平成30年11月	12	6	0	4	22	1	1	12
	平成30年12月	6	0	0	3	12	0	2	5
	平成31年1月	7	0	0	4	31	0	0	4
	平成31年2月	4	0	0	1	3	1	0	2
平成31年3月	5	0	0	2	17	1	0	3	
利用者等の声	<p>○環境計量証明等を行っている企業からの声 元素分析装置は高額であり、自社で購入・維持管理するのは難しいため、工業試験場の装置を設備利用で使えるのは便利。</p> <p>○大学からの声 大学にも同様の分析装置があるが、予約が埋まっていてすぐに使用できない場合がある。論文用など早急にデータがほしいとき、工業試験場の装置も選択肢となるので助かる。</p>								
補助事業概要 の広報資料	<a href="https://hoio.keirin-autorace.or.jp/shinsei/document/list/kikai/h29/pdf/29-019koho.pdf">https://hoio.keirin-autorace.or.jp/shinsei/document/list/kikai/h29/pdf/29-019koho.pdf</a>								

事業者名	(地独)北海道立総合研究機構								
機器名	ポータブル型X線残留応力測定装置								
写真									
特徴・用途	<p>試料に照射したX線の反射角度を分析することで、試料に加わっている残留応力を測定する装置。ポータブル型のため、大きな構造物などに対しても、現場での測定が可能。熱処理後に発生する残留オーステナイトの定量測定が可能で、金属製品の品質評価にも活用できる。</p>								
設置場所	(地独)北海道立総合研究機構産業技術研究本部工業試験場								
利用状況	年月	稼働日数 (日)	依頼試験・ 依頼分析 (件)	技術指導 (件)	試験設備貸出・利用		受託研究・ 共同研究 (件)	その他 (件)	利用件数 計(件)
	平成29年12月	5	0	0	件数(件)	時間(時間)	0	5	5
	平成30年1月	4	0	0	0	0	1	3	4
	平成30年2月	4	0	4	0	0	0	0	4
	平成30年3月	4	0	4	0	0	0	0	4
	平成30年4月	1	0	0	0	0	0	1	1
	平成30年5月	1	0	0	0	0	0	1	1
	平成30年6月	8	0	0	0	0	1	7	8
	平成30年7月	3	0	0	0	0	4	0	4
	平成30年8月	1	0	0	0	0	0	1	1
	平成30年9月	1	0	0	0	0	0	1	1
	平成30年10月	1	0	0	0	0	0	1	1
	平成30年11月	2	0	0	0	0	0	2	2
	平成30年12月	2	0	0	0	0	0	2	2
	平成31年1月	2	0	0	0	0	0	2	2
平成31年2月	10	0	0	1	18	0	8	9	
平成31年3月	7	0	0	0	0	1	6	7	
利用者等の声	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルミの継ぎ手の残留応力と強度低下の値が一致するなど学術的有意義なデータを得られた。</li> <li>・製品の品質改善のための知見が得られた。</li> </ul>								
補助事業概要 の広報資料	<a href="https://hojo.keirin-aurace.or.jp/shinsei/document/list/kikai/h29/pdf/29-019koho.pdf">https://hojo.keirin-aurace.or.jp/shinsei/document/list/kikai/h29/pdf/29-019koho.pdf</a>								

事業者名	(地独)北海道立総合研究機構								
機器名	デジタルインバータ制御溶接装置								
写真									
特徴・用途	<p>アーク溶接時の電流・電圧をデジタル制御し、溶込状態を安定化させることで、品質の良い溶接を行うことができる装置。溶接ワイヤの加熱制御機能を有しており、工具鋼など予熱温度の管理が重要な難溶接材料や、溶接材料本体を溶かさないうちでの使用など、幅広い材料や製品形状での使用が可能。</p>								
設置場所	(地独)北海道立総合研究機構産業技術研究本部工業試験場								
利用状況	年月	稼働日数 (日)	依頼試験・ 依頼分析 (件)	技術指導 (件)	試験設備貸出・利用		受託研究・ 共同研究 (件)	その他 (件)	利用件数 計(件)
					件数(件)	時間(時間)			
	平成29年11月	1	0	0	0	0	0	1	1
	平成29年12月	3	0	0	0	0	0	3	3
	平成30年1月	2	0	0	0	0	0	2	2
	平成30年2月	3	0	0	0	0	0	3	3
	平成30年3月	4	0	0	0	0	0	4	4
	平成30年4月	1	0	0	0	0	0	1	1
	平成30年5月	1	0	0	0	0	0	1	1
	平成30年6月	3	0	0	0	0	3	0	3
	平成30年7月	0	0	0	0	0	0	0	0
	平成30年8月	0	0	0	0	0	0	0	0
	平成30年9月	8	0	0	0	0	8	0	8
	平成30年10月	5	0	0	0	0	5	0	5
	平成30年11月	8	0	0	0	0	8	0	8
	平成30年12月	1	0	0	0	0	1	0	1
	平成31年1月	5	0	0	0	0	5	0	5
	平成31年2月	8	0	0	0	1	4	5	2
平成31年3月	3	0	0	0	0	0	3	0	3
利用者等の声	<p>金型の肉盛溶接部に改質処理を施す技術開発で、作業実態に即した溶接条件で実験試料を作製できたので、より実践的な実験ができた。</p>								
補助事業概要の広報資料	<p><a href="https://hojo.keirin-autorace.or.jp/shinsei/document/list/kikai/h29/pdf/29-019koho.pdf">https://hojo.keirin-autorace.or.jp/shinsei/document/list/kikai/h29/pdf/29-019koho.pdf</a></p>								